



2022年11月9日

各 位

会 社 名 天馬株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 廣野 裕彦
 (コード：7958、東証プライム)
 問 合 せ 先 取締役 総務・財務経理担当
 兼 総務部長 則武 勝
 (TEL. 03-3598-5515)

2023年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年5月12日に公表しました2023年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。なお、配当予想につきましては、前回公表から変更はありません。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績値の差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	46,000	400	400	300	13 円 52 銭
実績値(B)	45,054	552	1,064	405	18 円 33 銭
増減額(B-A)	△ 946	152	664	105	
増減率(%)	△ 2.1	38.0	166.0	35.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	38,895	878	1,143	569	24 円 78 銭

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては国内において消費回復の動きが限定的であり、また海外において上海ロックダウンの影響が想定以上に長引き、当初予想を下回りました。一方、営業利益につきましては、工業品分野でのコロナ禍における非効率な生産の影響が薄れたこと等により当初予想を上回りました。経常利益につきましては、円安傾向で推移したことによる為替差益の増加を主因として、当初予想を大幅に上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、天馬皇冠精密工業(蘇州)の清算に関連する特別利益6億円を織り込んでいましたが、コロナ禍における行政手続きの遅延等もあり、計上に至りませんでした。また不正競争防止法違反に係る罰金及び国内生産体制の見直しに係る引当金を特別損失に計上致しましたが、前取締役に対する損害賠償請求訴訟に係る和解金を特別利益に計上したことに加え、経常利益の上振れもあり、当初予想を上回りました。

なお、2023年3月期通期業績予想につきましては、為替相場や原材料価格の変動等が流動的である中、当該事象が業績に与える影響も大きいと見られており、現時点におきましては、2022年5月12日に公表した予想を据え置くことといたします。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上